

バスにおける新型コロナウイルス感染予防対策について

弊社は、公益社団法人日本バス協会の「バスにおける新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」に基づき、旅客自動車運送事業者として感染防止のための取組みを進めることにより、新型コロナウイルス感染症の蔓延防止を図り、地域の生活や経済活動を支え、安定したバス運行の維持に努めてまいります。

～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～

●基本的な予防対策について

- * 乗務員のマスク着用
- * こまめな手洗い、手指消毒の励行
- * 点呼時の体調確認および検温の実施
- * 車内へ飛沫感染防止シート等の設置
- * 車内換気
 - ・ 窓を開けて運行する場合がございます
 - ・ 空調機器による外気導入の積極的活用
- * 清掃時におけるバス車内消毒対応

貸し切りバスも飛沫対策
浜北区従業員がシート設置
観光バスの運行などを手掛ける「浜松バス」(浜松市浜北区、大久保英雄社長)はこのほど、貸し切りバスの座席に新型コロナウイルスの飛沫(ひまつ)感染防止用のシートを設置した。感染拡大を防ぎつつ団体旅行を楽しんでもらおうと従業員が手作りした。

40人以上が乗れる大型車1台の座席の上にプラスチック製シートを取り付け、運転席を覆うビニールも設置した。運行時は換気や消毒も徹底する。飛沫感染防止シートは今後、大型車十数台分を用意する予定。

同社は新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛などの影響で、4、5月とも前年同月比の売り上げが約8割減と打撃を受けた。団体旅行の予約も8月まで厳しい状況という。内山真良専務(46)は「感染防止対策を取りながら地域の皆さまが旅行を楽しめる日が戻るのを願っている」と話す。



新型コロナウイルス感染防止対策を施した貸し切りバス＝浜松市浜北区の浜松バス

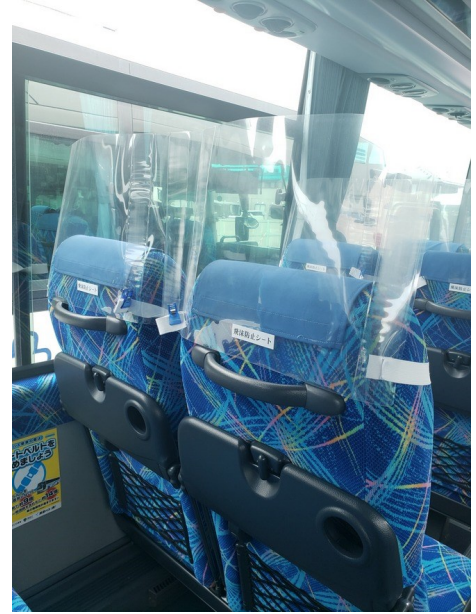
【2020年6月5日(金) 静岡新聞に掲載されました。】

● バス車内への飛沫防止対策について

【貸切バス】



運転席周り、客席へのシート装着風景



全客席(正座席)へのシート装着風景
(透明なプラスチック製のつい立)

※飛沫感染防止シート
は、順次装着してま
いります。

【路線バス】

運転席周りへの
シート装着風景

左：中型路線バス

右：ポンチョ



～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～

お客様には大変ご不便をおかけ致しますが、安心してご乗車頂くため
ご理解を頂くと共に、お客様ご自身も手指の消毒など感染防止にご協
力をお願い申し上げます。 ご乗車お待ちしております。